

2015年8月18日号

くろつち便り

内容：原発再稼働、安保法案、オスプレイ
8.15 座り込み／支部大掃除／くろつち文化祭
新会員のことば／音楽の力



8月15日
反戦・反核
自衛隊前
座り込み

大多数の国民が反対する中、また数日前から行われてきた、原発ゲート前抗議行動の中、8月11日10時30分、原発が再稼働に踏み切りました。

もちろん抗議行動には、9日と11日、くろつちからも9人が駆けつけました。



毎年、長崎原爆の日に合わせて座り込みを行い、反戦・反核を訴えてきましたが、今年は炎天の下15日に行われ、約40名が参加して「ストップ戦争法」「オスプレイ配備反対」「再稼働反対」を訴えました。

支部大掃除

7月25日(土)

毎年、夏休みの最初の土曜に行われる支部の大掃除。事前に支部長が、くろつちを意識されてことさら「8時からです」を強調されていましたが、早い人は6時台に来られるなど、さほどに、張り切っておられました。



くろつち文化祭

第4回 くろつち文化祭に向けて
着々と準備を進めています。

11月4日(水)～7日(土) 10:00～20:00

会場 プラッセだいわ鹿屋店 1階フロア

多数の出品をお願いします。

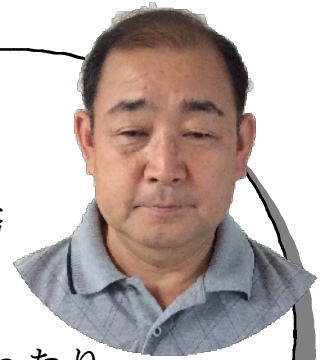


今後の予定：9月4日(金) 18:00～ 脱原発集会 イベント広場
他に給油機配備反対集会も予定されています。

新会員のことば ㊦

よろしくお願いします

立切 敏幸



新会員の立切敏幸です。

今年3月、大根占小学校を最後に38年間の学校事務職員生活を終わりました。再任用を希望しなかったため、連れ合いと一緒に吾平の家で生活しています。

両親の介護のこともあり、佐多の実家と吾平の家を行ったり来たりの日々で、楽しみにしていたテニスの練習にも行けない現状です。

今回、福祉部の仕事を引き受けましたが、そのような事情もあり、先輩方にご迷惑をかけることも多々あると思います。

できる範囲で頑張りますので、よろしくお願いいたします。

音楽の不思議な力

No. 68 今こそ暴れ馬に

日高南海雄

- ♪一 村の渡しの船頭さんは
今年六十のおじいさん
年はとっても お船をこぐ時は
元気いっぱい 櫓がしなる
ソレ ギッチラギッチラ ギッチラコ
- 二 雨の降る日も 岸から岸へ
ぬれて船こぐ おじいさん
今朝も かわいい仔馬を二匹
向こう牧場(まきば)へ 乗せてった
ソレ ギッチラ ギッチラ ギッチラコ
- 三 川はきらきら さざ波小波
渡すにここに おじいさん
みんなにここに ゆれゆれ渡る
どうも御苦労さんと 言って渡る
ソレ ギッチラギッチラ ギッチラコ

これは「船頭さん」という童謡です。この歌を作った作詞・竹内俊子、作曲・河村光陽による童謡には「かもめの水兵さん」「赤い帽子白い帽子」「りんごのひとりごと」などがあります。

この歌が発表されたのは大戦直前の昭和16年で、このような詩では軍部が検閲を通すはずがありません。もともとの詞は次の通りです。

一番では「しなる」が「しなう」でした。

二は、「今朝も～乗せてった」という後半が「今日も渡しで お馬が通る あれは戦地へ行くお馬」

三は、ほぼ全部変わっています。
「村の御用やお国の御用 みんな急ぎの人ばかり 西へ東へ 船頭さんは 休む暇なく 船をこぐ」とあります。
つまり、かわいい仔馬は軍馬だったのです。



「めだかの学校」の詞を書いた「茶木滋」に「馬」という詩があります。

- 一 馬はだまって戦争(いくさ)に行った
馬はだまって 大砲引いた
二 馬はたおれた 御国のために
それでも起とうと 足うごかした
三 兵隊さんが すぐ駆けよった
それでも 馬は うごかない
四 馬は夢みた 田舎のことを
田ん圃たがやす 夢みて死んだ

この詩は昭和15年に発表されましたが、歌になることはありませんでした。同人誌での発表だったので、軍部や憲兵の目に触れることはありませんでした。私には「馬」は人間を表現しているのではないかと思われま

す。馬は平和を愛する動物です。普段は従順でもいざという時は暴れ馬になります。そして、馬は、新芽を食い荒らして木を枯らしてしまう鹿とだけは、決して一緒に行動しないのです。